





アインズ様  
寢室

おっ…  
お帰りなさいませ  
アインズ様

「飯にしますか？」

お風呂にしますか？

それとも

わたし♡

うわあ  
ああ

……







お傍に  
仕えさせて頂く  
無上の榮に浴し尚  
このような  
身に余る願望  
厚かましく存じます

しかし此度は  
あの時の褒美として  
頂きたく！

何も褒美はいらぬ？  
配下の無欲は――

ああ  
とにかく何も無い駄目だ  
何か考えておけ

何でもござ

このパターンは  
前にも

あの時――



成長して  
いるんだな

だが――

ナーベラルよ

はっ…はい



しかし――  
それでも昔だったら  
何も褒美を  
望まなかっただろう

それが  
真面目なナーベラルが  
自分の口で  
言いに来るとは



お前たちの忠義は十分  
伝わっている  
愛するお前たちに  
そのようなことを  
無理強いするつもりは――

違います  
!!!



無理にそのような  
ことをしなくても  
いいのだぞ？

？…  
はっ？

確かに私は  
アルベドとシヤルティア

そしてアウラとも  
関係を持った

しかし  
ナザリックの者すべてが  
そうしなくては  
いけないわけではない



触れた  
温もり

御身とともに  
居た時間



ですが



残った  
恩義もありません

至高の恩方への  
崇拜もあります



お慕いして  
いるのです

アインズ様

ただ  
あなたを



芽生えた  
この想いは

義務感などでは  
ありません



御身が  
謝るようなことは  
何も



俺は馬鹿だな

ナルベール  
すまなかったな



彼女たちは  
もうNPCではない

ポウ







上位道具創造

肛虐張形

お前の身は  
すべて私のもの  
...だろう

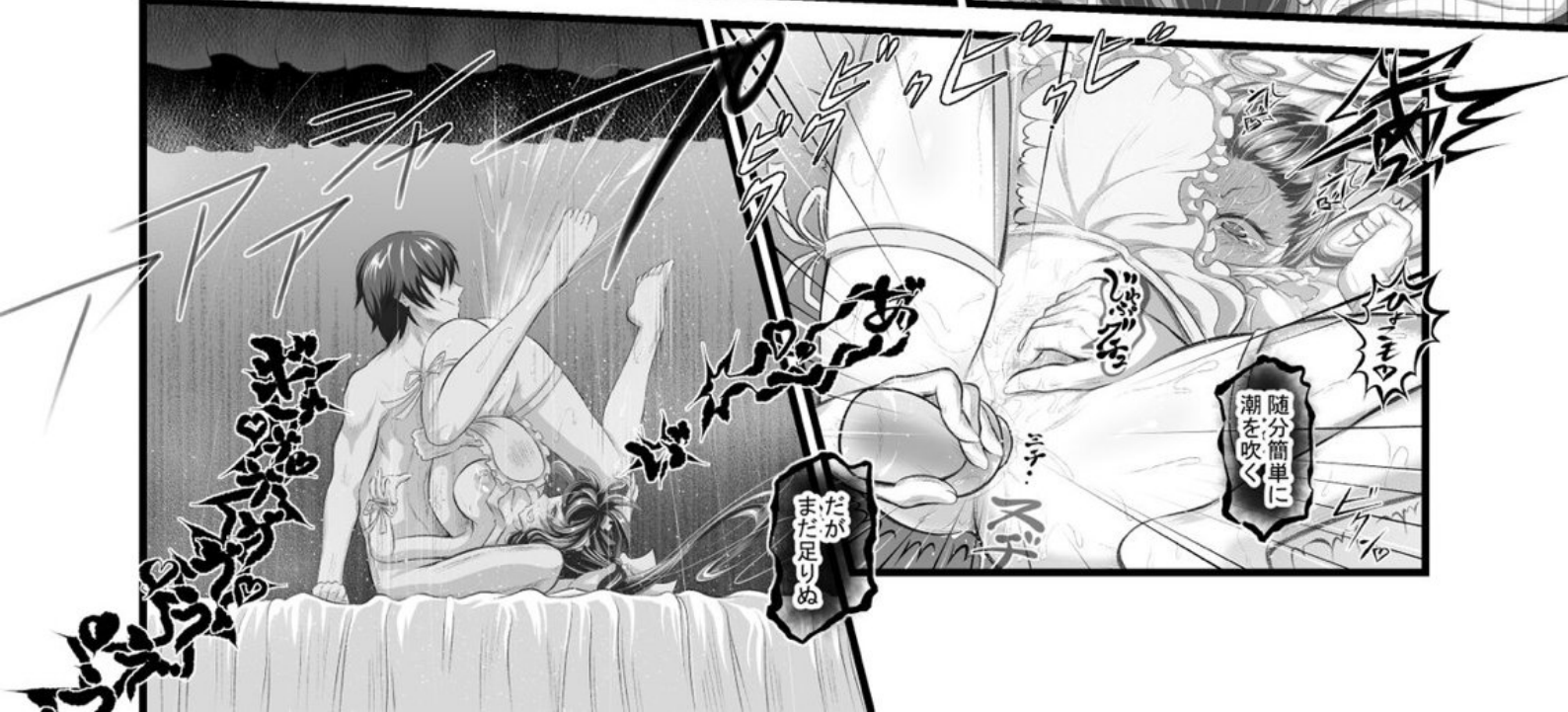
ほぐしがいの  
ありそうな  
アナルだ

そのような  
所を  
御身がっ

今更何を言っ

あ...ああ  
見ないでください  
見ないで...

あ...あ...あ



随分簡単に  
潮を吹く

だが  
まだ足りぬ





ほう

ア…アインズ様  
次は私が  
御身に快楽をば  
奉りたく



もう精魂  
尽きたか？

どうした

い…  
いえっ  
ガバッ



派手に  
達したな



ふむ…  
中々の  
悦楽よ

アルベド様より  
ご教授賜った  
この紅葉合わせで！

アインズ様の…  
愛おしい♡



だが



足りぬ

喉の最奥で  
受け止めよ





では次は  
本番だ

苦しいか？

ゴホ  
ゴホッ

はま

いいえ

御身の聖液  
有難く

最奥まで  
貫いて  
やろう

休んでいる  
暇などない

挿れただけで  
この様か



ところで  
ナベラル

今私は  
人間の姿だが

あれほど  
蔑んだ人間に  
罵られるのは  
どんな気持ちだ？

アッ  
アインズ様は

別で  
しゅっ...

カクカク  
都合のいい  
女だ

なあっ

かかかかかかかかかか

かか  
かか

ギッ

ギッ

バカッ

そろそろ  
子種を  
くれてやろう









おっ御身の前で  
とんだ醜態を

ハハハっ  
気にしないさ  
それに…



時々自分が  
怖い



パキ

あっ



他の姉妹も  
御身への  
気持ちは同じです



アッ  
アインズ様



さつきは  
もっとすごい痴態を  
見せてくれたじゃないか



合体!?

合体!?



だが  
ナーベールが  
一番最初とはな



しかし…  
エンマとして  
なったら  
どうすれば…

分かっている  
私も覚悟を決めた



アインズ様  
…どうか



